

講 座 名	日本史B	教 科	地理歴史科	科 目	日本史B
開 講 学 年	3 学年	履 修 区 分	選択	単 位 数	4
教 科 書	新選日本史B 東京書籍				
教 材					

1 科目の目標・学習内容

- ①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
 ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
 ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の到達目標

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用・技能	④知識・理解
○歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気付き、関心をもって主体的に学習に取り組んでいるか。 ○現代の社会が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けているか。	○日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について、さまざまな理解・立場があることをふまえて、公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を、適切な方法を選んで効果的に表現しているか。	○日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身に付けているか。	○基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。 ○日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。

3 学習計画

月	単元名	特に培いたい 資質能力	学習内容	単元の評価規準	評価方法 【評価規準】
4	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1. 原始社会の生活と文化	論理的 思考力 論理的 表現力	1. 更新世の日本 ○人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を学ぶ。	○旧石器時代と縄文時代の遺物などの資料の活用【関】 ○道具や稲作などの大陸文化の影響を考察します。【思】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査
5	2. 農耕社会の形成と大陸文化の摂取	自己発信力	○集落立地、食料獲得方法と食生活の変化、富の蓄積、習俗や墓制の推移等の社会の変化を学ぶ。		
6	3. 律令国家の形成と古代文化の展開	論理的 思考力 論理的 表現力	1. 弥生文化と小国家の形成 2. 大和王権と古墳文化 ○小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学ぶ。	○遣隋使の派遣や冠位十二階・思考力憲法十七条制定のねらいを考察【資】 ○壬申の乱に勝利して生まれた天武朝がもつ歴史的意義について【知】 ○遣唐使の果たした役割について考察【思】 ○コラムを活用し、史料としての木簡の有用性について考えます。【資】 ○最澄と空海のもたらした仏教の新鮮さについて考察します。	
	4. 摂関政治と文化の和様化	自己発信力	1. 飛鳥の朝廷と文化 ○東アジア世界が大きく変動するなか、推古朝の国政改革が進んだことを学ぶ。 ○仏教を基調とする文化が花開いたことを学ぶ。 2. 律令国家の成立と白鳳文化 ○大化の改新を経て、律令国家が形成される過程を学ぶ 3. 平城京と天平文化 ○律令制のしくみについて学ぶ。 ○中央集権体制のしくみと奈良時代の政治の動向について学ぶ 1. 平安遷都と唐風文化 ○国際色豊かな貴族文化がさかえたことを学ぶ。 2. 貴族社会と摂関政治 ○平安時代初期に、律令体制の再建が進んだことを学ぶ 3. 国風文化 ○唐文化を消化した新たな文化が発達したことを学ぶ	○系図を活用して、摂関政治がどのように展開したのかを考察します。【資】	

	中間考査				
7 8 9	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1. 中世社会の成立 2. 武家社会の形成と東アジア	論理的思考力 論理的表現力 自己発信力	1. 院政と荘園 ○11世紀以降、公領の変質や荘園の拡大が進んだことを学ぶ。 ○院政のしくみについて学ぶ。 2. 平氏政権の登場武士と戦い ○12世紀の保元の乱・平治の乱を経て、武家政権としての平氏政権が成立したことを学ぶ。 3. 鎌倉幕府の誕生 ○鎌倉幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について学ぶ。 4. 執権による政治 ○鎌倉幕府が、二元的支配からしだいに公家政権より優位に立つようになっていったことを学ぶ。 5. 元寇と社会の変貌 ○元寇の前後、宋銭の流入によって貨幣経済が進展したことや鎌倉幕府内で得宗の力が強まったことを学ぶ。 6. 鎌倉の仏教と文化 1. 室町幕府の創設 ○鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について学ぶ。 3. 下剋上の社会と戦国大名 4. 室町文化 ○東アジア世界との交流のなかで、武家文化と公家文化の融合や庶民文化の発達が見られたことを学ぶ。	○なぜ院政という政治形態が生まれたのかを考察【思】 ○平氏政権の成立にいたるまでの武士の動向について【知】 ○武士や庶民を題材にした文学、絵巻物や力強く写実的な彫刻の写真などを利用して、文化の新気運を考察【資】 ○室町文化を象徴する金閣・銀閣の構造に、どのような特色がみられるのかを考察【資】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	期末考査				
1 0 1 1 1 2	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1. ヨーロッパ文化との接触と国内統一 2. 幕藩体制の成立 3. 近世社会の発達と町人文化 4. 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	論理的思考力 論理的表現力 自己発信力	1. ヨーロッパ文化との接触 ○大航海時代という世界史的背景のもと、日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを学ぶ。 2. 織豊政権による全国統一 ○織田信長・豊臣秀吉による全国統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について学ぶ。 3. 桃山文化 1. 江戸幕府と大名・朝廷 ○江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について学ぶ。 2. 身分制度の確立 ○近世社会の身分制度を学び、幕府による農民統制と農村における自治について理解する。 3. キリスト教禁止と鎖国 ○鎖国政策による貿易統制と禁教という側面とともに、オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易が行われたことを学ぶ。 1. 幕府政治の進展 ○17世紀中ごろ、強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換したことを学ぶ。 2. 経済と産業の発達 3. 学問の新傾向と元禄文化 1. 幕藩体制の動揺と政治改革 ○財政難に直面した幕府では、享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことを学ぶ。 2. 幕藩体制の危機 ○社会構造の変化による幕藩体制の動揺に対応するため、寛政の改革が進められたことを学ぶ。 3. 新しい学問の形成と化政文化 ○内外の危機が深まるなかで実施された天保の改革が失敗する一方、雄藩が誕生してきたことを学ぶ。	○スペイン・ポルトガルの勢力が東アジアに現れた理由について、地図を活用して考察【資】 ○太閤検地と刀狩が、従来の社会の何をどのように変えたのかを考察【思】します。 ○参勤交代のコラムを活用し、武家諸法度による大名統制について考察【思】 ○徳川綱吉が出した生類憐みの令がもたらした影響について【考】 ○地図を用いた作業学習を通じて、全国規模での陸上・水上交通の発達や商品流通の活発化を考察【資】 ○財政再建を進めるために、徳川吉宗と田沼意次が行った政策を比較して考察【思】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	学年末考査				
	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 1. 開国から明		1. 開国 ○ペリーの開国要求で鎖国政策が転換され、日米修好通商条約の締結によって始まった貿易が社会に混乱をもたらしたことを学ぶ。 2. 幕府の滅亡	○19世紀前半に外国船が接近した理由を、世界的視野から考察【思】 ○江戸時代の対外関係を	①学習意欲 ②取り組み状況

治維新へ 2. 立憲政治の形成と国民文化 3. 日本の近代化と東アジア		論理的 思考力 論理的 表現力 自己発 信力	○政治の主導権をめぐる争いが続くなか、薩長同盟の成立によって討幕の気運が高まり、大政奉還後の戊辰戦争で徳川方の勢力が敗れたことを学ぶ。 3. 統一国家の成立 4. 近代国家をめざして 5. 殖産興業と文明開化 ○版籍奉還と廃藩置県によって天皇を中心とする統一国家が成立し、身分制度が廃止されたことを学ぶ。 6. 明治初期の国際情勢 ○政府が琉球・朝鮮に対して強圧的な態度で国境を画定させた一方、ロシアとは平和的交渉で国境画定を進めたことを学ぶ。 ○岩倉使節団が欧米で見聞を広め、国際認識を新たにすることを学ぶ。 1. 政府専制への批判 ○土族反乱の鎮圧後、自由民権運動が活発化し、国会開設の勅諭が出された経緯を学ぶ。 2. 立憲政治の成立 3. 新しい文化の形成 ○大日本帝国憲法の制定後、初期議会で展開された政府と民党との対立の推移を学ぶ。 ○不平等条約の改正をめぐる交渉が、国際情勢の推移のなかで進展したことを学ぶ。 1. 日清戦争と東アジアの変容 ○日本と清の朝鮮への関わり方を学び、それが日清戦争をひきおこしたことを理解する。 2. 「中国分割」と日露戦争 ○帝国主義が広まり、中国分割が進められるなか、朝鮮・満州における利権をめぐる日露戦争がおこったことを学ぶ。 ○日本が朝鮮を植民地化した経緯を学ぶ。 ○日露戦争後の政治がしだいに民衆の要求に応えざるをえなくなったことを学ぶ。 3. 工業化と資本主義の発達 4. 近代文化の発達	「鎖国」ではないとする見方と、「鎖国」であるとする見方とに分けて考察【思】 ○グラフ資料を活用して、貿易の実態について考察【資】 ○五榜の掲示などの史料を活用し、新政府が民衆の期待に応えるものであったのかを考察【思】 ○岩倉使節団のコースを地図で確認【資】 ○日本国憲法との比較から大日本帝国憲法の特徴を考察【資】 ○地図を活用して、中国分割の実態について確認【資】	③課題提出 ④定期考査 活動観察
--	--	--	--	---	------------------------------------

4 評価基準

学習活動への参加意欲や課題の提出物の内容や取り組み、及び定期考査などから、総合的に評価します。

5 その他

講 座 名	日本史 B	教 科 科	地理歴史科	科 目	日本史 B
開 講 学 年	3 学年	履 修 区 分	選択	単 位 数	4
教 科 書	新選日本史 B 東京書籍				
教 材	新選日本史 B ワークノート				

1 科目の目標・学習内容

- ①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
 ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
 ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の到達目標

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用・技能	④知識・理解
○歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気付く、関心をもって主体的に学習に取り組んでいるか。 ○現代の社会が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けているか。	○日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について、さまざまな理解・立場があることをふまえて、公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を、適切な方法を選んで効果的に表現しているか。	○日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身に付けているか。	○基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。 ○日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。

3 学習計画

月	単元名	特に培いたい 資質能力	学習内容	単元の評価規準	評価方法 【評価規準】
4	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1. 原始社会の生活と文化	論理的 思考力 論理的 表現力	1. 更新世の日本 ○人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を学ぶ。	○旧石器時代と縄文時代の遺物などの資料の活用【関】 ○道具や稲作などの大陸文化の影響を考察します。【思】 ○遣隋使の派遣や冠位十二階・思考力憲法十七条制定のねらいを考察【資】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査
5	2. 農耕社会の形成と大陸文化の摂取	自己発信力	1. 弥生文化と小国家の形成 2. 大和王権と古墳文化 ○小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学ぶ。	○壬申の乱に勝利して生まれた天武朝がもつ歴史的意義について【知】 ○遣唐使の果たした役割について考察【思】 ○コラムを活用し、史料としての木簡の有用性について考えます。【資】 ○最澄と空海のもたらした仏教の新しいさについて考察します。	活動観察
6	3. 律令国家の形成と古代文化の展開 4. 摂関政治と文化の和様化	論理的 思考力 論理的 表現力 自己発信力	1. 飛鳥の朝廷と文化 ○東アジア世界が大きく変動するなか、推古朝の国政改革が進んだことを学ぶ。 ○仏教を基調とする文化が開花したことを学ぶ。 2. 律令国家の成立と白鳳文化 ○大化の改新を経て、律令国家が形成される過程を学ぶ 3. 平城京と天平文化 ○律令制のしくみについて学ぶ。 ○中央集権体制のしくみと奈良時代の政治の動向について学ぶ 1. 平安遷都と唐風文化 ○国際色豊かな貴族文化がさかえたことを学ぶ。 2. 貴族社会と摂関政治 ○平安時代初期に、律令体制の再建が進んだことを学ぶ 3. 国風文化 ○唐文化を消化した新たな文化が発達したことを学ぶ	○系図を活用して、摂関政治がどのように展開したのかを考察します。【資】	
	中間考査				

7 8 9	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1. 中世社会の成立 2. 武家社会の形成と東アジア	論理的思考力 論理的表現力 自己発信力	1. 院政と荘園 ○11世紀以降、公領の変質や荘園の拡大が進んだことを学ぶ。 ○院政のしくみについて学ぶ。 2. 平氏政権の登場武士と戦い ○12世紀の保元の乱・平治の乱を経て、武家政権としての平氏政権が成立したことを学ぶ。 3. 鎌倉幕府の誕生 ○鎌倉幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について学ぶ。 4. 執権による政治 ○鎌倉幕府が、二元的支配からしだいに公家政権より優位に立つようになっていったことを学ぶ。 5. 元寇と社会の変貌 ○元寇の前後、宋銭の流入によって貨幣経済が進展したことや鎌倉幕府内で得宗の力が強まったことを学ぶ。 6. 鎌倉の仏教と文化 1. 室町幕府の創設 ○鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について学ぶ。 2. 下剋上の社会と戦国大名 3. 室町文化 ○東アジア世界との交流のなかで、武家文化と公家文化の融合や庶民文化の発達がみられたことを学ぶ。	○なぜ院政という政治形態が生まれたのかを考察【思】 ○平氏政権の成立にいたるまでの武士の動向について【知】 ○武士や庶民を題材にした文学、絵巻物や力強く写実的な彫刻の写真などを利用して、文化の新気運を考察【資】 ○室町文化を象徴する金閣・銀閣の構造に、どのような特色がみられるのかを考察【資】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	期末考査				
1 0 1 1 1 2	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1. ヨーロッパ文化との接触と国内統一 2. 幕藩体制の成立 3. 近世社会の発達と町人文化 4. 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	論理的思考力 論理的表現力 自己発信力	1. ヨーロッパ文化との接触 ○大航海時代という世界史的背景のもと、日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを学ぶ。 2. 織豊政権による全国統一 ○織田信長・豊臣秀吉による全国統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について学ぶ。 3. 桃山文化 1. 江戸幕府と大名・朝廷 ○江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について学ぶ。 2. 身分制度の確立 ○近世社会の身分制度を学び、幕府による農民統制と農村における自治について理解する。 3. キリスト教禁止と鎖国 ○鎖国政策による貿易統制と禁教という側面とともに、オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易が行われたことを学ぶ。 1. 幕府政治の進展 ○17世紀中ごろ、強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換したことを学ぶ。 2. 経済と産業の発達 3. 学問の新傾向と元禄文化 1. 幕藩体制の動揺と政治改革 ○財政難に直面した幕府では、享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことを学ぶ。 2. 幕藩体制の危機 ○社会構造の変化による幕藩体制の動揺に対応するため、寛政の改革が進められたことを学ぶ。 3. 新しい学問の形成と化政文化 ○内外の危機が深まるなかで実施された天保の改革が失敗する一方、雄藩が誕生してきたことを学ぶ。	○スペイン・ポルトガル勢力が東アジアに現れた理由について、地図を活用して考察【資】 ○太閤検地と刀狩が、従来の社会の何をどのように変えたのかを考察【思】します。 ○参勤交代のコラムを活用し、武家諸法度による大名統制について考察【思】 ○徳川綱吉が出した生類憐みの令がもたらした影響について【考】 ○地図を用いた作業学習を通じて、全国規模での陸上・水上交通の発達や商品流通の活発化を考察【資】 ○財政再建を進めるために、徳川吉宗と田沼意次が行った政策を比較して考察【思】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	学年末考査				
	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 1. 開国から明治維新へ		1. 開国 ○ペリーの開国要求で鎖国政策が転換され、日米修好通商条約の締結によって始まった貿易が社会に混乱をもたらしたことを学ぶ。 2. 幕府の滅亡 ○政治の主導権をめぐる争いが続くなか、薩長同盟の成立によって討幕の気運が高まり、大政奉還後の戊辰戦争で徳川方の勢力が敗れたことを学ぶ。	○19世紀前半に外国船が接近した理由を、世界史的視野から考察【思】 ○江戸時代の対外関係を「鎖国」ではないとする見方と、「鎖国」であるとする見方とに分けて考察【思】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査

	2. 立憲政治の形成と国民文化 3. 日本の近代化と東アジア	論理的思考力 論理的表現力 自己発信力	3. 統一国家の成立 4. 近代国家をめざして 5. 殖産興業と文明開化 ○版籍奉還と廃藩置県によって天皇を中心とする統一国家が成立し、身分制度が廃止されたことを学ぶ。 6. 明治初期の国際情勢 ○政府が琉球・朝鮮に対して強圧的な態度で国境を画定させた一方、ロシアとは平和的交渉で国境画定を進めたことを学ぶ。 ○岩倉使節団が欧米で見聞を広め、国際認識を新たにすることを学ぶ。 1. 政府専制への批判 ○士族反乱の鎮圧後、自由民権運動が活発化し、国会開設の勅諭が出された経緯を学ぶ。 2. 立憲政治の成立 3. 新しい文化の形成 ○大日本帝国憲法の制定後、初期議会で展開された政府と民党との対立の推移を学ぶ。 ○不平等条約の改正をめぐる交渉が、国際情勢の推移のなかで進展したことを学ぶ。 1. 日清戦争と東アジアの変容 ○日本と清の朝鮮への関わり方を学び、それが日清戦争をひき起こしたことを理解する。 2. 「中国分割」と日露戦争 ○帝国主義が広まり、中国分割が進められるなか、朝鮮・満州における利権をめぐる日露戦争がおこったことを学ぶ。 ○日本が朝鮮を植民地化した経緯を学ぶ。 ○日露戦争後の政治がしだいに民衆の要求に応えざるをえなくなったことを学ぶ。 3. 工業化と資本主義の発達 4. 近代文化の発達	○グラフ資料を活用して、貿易の実態について考察【資】 ○五榜の掲示などの史料を活用し、新政府が民衆の期待に応えるものであったのかを考察【思】 ○岩倉使節団のコースを地図で確認【資】 ○日本国憲法との比較から大日本帝国憲法の特徴を考察【資】 ○地図を活用して、中国分割の実態について確認【資】	活動観察
--	--	---------------------------------------	---	--	------

4 評価基準

学習活動への参加意欲や課題の提出物の内容や取り組み、及び定期考査などから、総合的に評価します。

5 その他

講 座 名	日本史 B	教 科	地理歴史科	科 目	日本史 B
開 講 学 年	3 学年	履 修 区 分	選択	単 位 数	4
教 科 書	新選日本史 B 東京書籍				
教 材	新選日本史 B ワークノート				

1 科目の目標・学習内容

- ①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
 ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。
 ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の到達目標

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③資料活用・技能	④知識・理解
○歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心をもって主体的に学習に取り組んでいるか。 ○現代の社会が抱える諸課題について、平和で民主的な世界、地域、国、社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けているか。	○日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察しているか。 ○歴史的に形成された諸課題について、さまざまな理解・立場があることをふまえて、公正に判断しているか。 ○課題についての考察や判断の過程や結果を、適切な方法を選んで効果的に表現しているか。	○日本の歴史を考察するために必要な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができるか。 ○得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探究する学び方を身に付けているか。	○基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解しているか。 ○日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解しているか。

3 学習計画

月	単元名	特に培いたい 資質能力	学習内容	単元の評価規準	評価方法 【評価規準】
4	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1. 原始社会の生活と文化	知識 技能	1. 更新世の日本 ○人々の食料獲得方法や道具の変遷、呪術的風習、地域的な差異等を学ぶ。	○旧石器時代と縄文時代の遺物などの資料の活用【関】 ○道具や稲作などの大陸文化の影響を考察します。【思】 ○遣隋使の派遣や冠位十二階・思考力憲法十七条制定のねらいを考察【資】	①学習意欲 ②取組み状況 ③課題提出 ④定期考査
5	2. 農耕社会の形成と大陸文化の摂取	思考力 判断力 表現力	1. 弥生文化と小国家の形成 2. 大和王権と古墳文化 ○小国の形成から大和王権にいたる過程と古墳文化の特色について学ぶ。	○壬申の乱に勝利して生まれた天武朝がもつ歴史的意義について【知】 ○遣唐使の果たした役割について考察【思】 ○コラムを活用し、史料としての木簡の有用性について考えます。【資】	活動観察
6	3. 律令国家の形成と古代文化の展開	知識 技能	1. 飛鳥の朝廷と文化 ○東アジア世界が大きく変動するなか、推古朝の国政改革が進んだことを学ぶ。 ○仏教を基調とする文化が開花したことを学ぶ。 2. 律令国家の成立と白鳳文化 ○大化の改新を経て、律令国家が形成される過程を学ぶ 3. 平城京と天平文化 ○律令制のしくみについて学ぶ。 ○中央集権体制のしくみと奈良時代の政治の動向について学ぶ	○最澄と空海のもたらした仏教の新鮮さについて考察します。 ○系図を活用して、摂関政治がどのように展開したのかを考察します。【資】	
	4. 摂関政治と文化の和様化	思考力 判断力 表現力	1. 平安遷都と唐風文化 ○国際色豊かな貴族文化がさかえたことを学ぶ。 2. 貴族社会と摂関政治 ○平安時代初期に、律令体制の再建が進んだことを学ぶ 3. 国風文化 ○唐文化を消化した新たな文化が発達したことを学ぶ		
	中間考査				

7 8 9	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1. 中世社会の成立 2. 武家社会の形成と東アジア	知識技能 思考力 判断力 表現力	1. 院政と荘園 ○11世紀以降、公領の変質や荘園の拡大が進んだことを学ぶ。 ○院政のしくみについて学ぶ。 2. 平氏政権の登場武士と戦い ○12世紀の保元の乱・平治の乱を経て、武家政権としての平氏政権が成立したことを学ぶ。 3. 鎌倉幕府の誕生 ○鎌倉幕府の成立過程とこの時代の武士の生活について学ぶ。 4. 執権による政治 ○鎌倉幕府が、二元的支配からしだいに公家政権より優位に立つようになっていったことを学ぶ。 5. 元寇と社会の変貌 ○元寇の前後、宋銭の流入によって貨幣経済が進展したことや鎌倉幕府内で得宗の力が強まったことを学ぶ。 6. 鎌倉の仏教と文化 1. 室町幕府の創設 ○鎌倉幕府の滅亡後、南北朝の動乱のなかで室町幕府が成立した過程について学ぶ。 3. 下剋上の社会と戦国大名 4. 室町文化 ○東アジア世界との交流のなかで、武家文化と公家文化の融合や庶民文化の発達がみられたことを学ぶ。	○なぜ院政という政治形態が生まれたのかを考察【思】 ○平氏政権の成立にいたるまでの武士の動向について【知】 ○武士や庶民を題材にした文学、絵巻物や力強く写実的な彫刻の写真などを利用して、文化の新気運を考察【資】 ○室町文化を象徴する金閣・銀閣の構造に、どのような特色がみられるのかを考察【資】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	期末考査				
1 0 1 1 1 2	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1. ヨーロッパ文化との接触と国内統一 2. 幕藩体制の成立 3. 近世社会の発達と町人文化 4. 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	知識技能 思考力 判断力 表現力	1. ヨーロッパ文化との接触 ○大航海時代という世界史的背景のもと、日本に鉄砲やキリスト教が伝来したことを学ぶ。 2. 織豊政権による全国統一 ○織田信長・豊臣秀吉による全国統一の過程と、秀吉が実施した検地・刀狩・朝鮮出兵について学ぶ。 3. 桃山文化 1. 江戸幕府と大名・朝廷 ○江戸幕府の組織と大名統制、朝廷・寺社統制など、幕藩体制の特色について学ぶ。 2. 身分制度の確立 ○近世社会の身分制度を学び、幕府による農民統制と農村における自治について理解する。 3. キリスト教禁止と鎖国 ○鎖国政策による貿易統制と禁教という側面とともに、オランダ・中国・朝鮮・アイヌとの交易が行われたことを学ぶ。 1. 幕府政治の進展 ○17世紀中ごろ、強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治に転換したことを学ぶ。 2. 経済と産業の発達 3. 学問の新傾向と元禄文化 1. 幕藩体制の動揺と政治改革 ○財政難に直面した幕府では、享保の改革を経て田沼意次による改革が行われたことを学ぶ。 2. 幕藩体制の危機 ○社会構造の変化による幕藩体制の動揺に対応するため、寛政の改革が進められたことを学ぶ。 3. 新しい学問の形成と化政文化 ○内外の危機が深まるなかで実施された天保の改革が失敗する一方、雄藩が誕生してきたことを学ぶ。	○スペイン・ポルトガル勢力が東アジアに現れた理由について、地図を活用して考察【資】 ○太閤検地と刀狩が、従来の社会の何をどのように変えたのかを考察【思】します。 ○参勤交代のコラムを活用し、武家諸法度による大名統制について考察【思】 ○徳川綱吉が出した生類憐みの令がもたらした影響について【考】 ○地図を用いた作業学習を通じて、全国規模での陸上・水上交通の発達や商品流通の活発化を考察【資】 ○財政再建を進めるために、徳川吉宗と田沼意次が行った政策を比較して考察【思】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査 活動観察
	学年末考査				
	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 1. 開国から明治維新へ		1. 開国 ○ペリーの開国要求で鎖国政策が転換され、日米修好通商条約の締結によって始まった貿易が社会に混乱をもたらしたことを学ぶ。 2. 幕府の滅亡 ○政治の主導権をめぐる争いが続くなか、薩長同盟の成立によって討幕の気運が高まり、大政奉還後の戊辰戦争で徳川方の勢力が敗れたことを学ぶ。	○19世紀前半に外国船が接近した理由を、世界史的視野から考察【思】 ○江戸時代の対外関係を「鎖国」ではないとする見方と、「鎖国」であるとする見方とに分けて考察【思】	①学習意欲 ②取り組み状況 ③課題提出 ④定期考査

	2. 立憲政治の形成と国民文化 3. 日本の近代化と東アジア	知識 技能 思考力 判断力 表現力	3. 統一国家の成立 4. 近代国家をめざして 5. 殖産興業と文明開化 ○版籍奉還と廃藩置県によって天皇を中心とする統一国家が成立し、身分制度が廃止されたことを学ぶ。 6. 明治初期の国際情勢 ○政府が琉球・朝鮮に対して強圧的な態度で国境を画定させた一方、ロシアとは平和的交渉で国境画定を進めたことを学ぶ。 ○岩倉使節団が欧米で見聞を広め、国際認識を新たにすることを学ぶ。 1. 政府専制への批判 ○士族反乱の鎮圧後、自由民権運動が活発化し、国会開設の勅諭が出された経緯を学ぶ。 2. 立憲政治の成立 3. 新しい文化の形成 ○大日本帝国憲法の制定後、初期議会で展開された政府と民党との対立の推移を学ぶ。 ○不平等条約の改正をめぐる交渉が、国際情勢の推移のなかで進展したことを学ぶ。 1. 日清戦争と東アジアの変容 ○日本と清の朝鮮への関わり方を学び、それが日清戦争をひき起こしたことを理解する。 2. 「中国分割」と日露戦争 ○帝国主義が広まり、中国分割が進められるなか、朝鮮・満州における利権をめぐる日露戦争がおこったことを学ぶ。 ○日本が朝鮮を植民地化した経緯を学ぶ。 ○日露戦争後の政治がしだいに民衆の要求に応えざるをえなくなったことを学ぶ。 3. 工業化と資本主義の発達 4. 近代文化の発達	○グラフ資料を活用して、貿易の実態について考察【資】 ○五榜の掲示などの史料を活用し、新政府が民衆の期待に応えるものであったのかを考察【思】 ○岩倉使節団のコースを地図で確認【資】 ○日本国憲法との比較から大日本帝国憲法の特徴を考察【資】 ○地図を活用して、中国分割の実態について確認【資】	活動観察
--	--	---	---	--	------

4 評価基準

学習活動への参加意欲や課題の提出物の内容や取り組み、及び定期考査などから、総合的に評価します。

5 その他